

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)

【公開番号】特開 2001-134047 (P2001-134047A)
 【公開日】平成 13 年 5 月 18 日 (2001.5.18)
 【出願番号】特願 平 11-314141
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 G 15/01

G 0 3 G 15/00

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 21/00

【F I】

G 0 3 G 15/01 1 1 4 A

G 0 3 G 15/00 3 0 3

G 0 3 G 15/16

G 0 3 G 21/00 3 7 0

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 23 日 (2003.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

このような技術的手段において、本件はタンデム型、4 サイクル型のいずれの態様をも含む。

また、像搬送ベルト 2 には、中間転写ベルトのみならず、用紙搬送ベルトをも含む。

更に、プロセス制御センサ 5 は、作像プロセス制御用センサを意味し、濃度制御用の濃度センサのみならず、レジストレーション位置制御用の位置センサなどを広く含む。

更にまた、接触部材 6 に張架ロール 3 のみならず、他の部材をも含む。

この場合、他の部材の中には、像搬送ベルト 2 上の可視像粒子を積極的に飛散させるために張架ロール 3 と別個に設けられる飛散部材 7 (仮想線で示す)をも含む。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 5】

また、本実施の形態において、図 6 に示すように、第 3 の態様、すなわち、金属製張架ロール 2 2 へのバイアス印加 + アース電極板 8 2 により、狭いトナー飛散域で且つトナー飛散量がすくなくなるため、プリンタ本体へのトナー飛散の防止効果がより高まる。

ここで、アース電極板 8 2 を無くし、金属製張架ロール 2 2 へのバイアス印加のみにすると、金属製張架ロール 2 2 へのバイアス印加 + アース電極板 8 2 のような飛散防止効果は無い。これは、張架ロール 2 2 が単体でトナー極性と逆極性の電圧を持てば、トナーの飛散はある程度抑えられるが、トナー飛散しにくい電界を形成していないために、トナー飛散防止効果は少ない。

同様に、図 9 の濃度センサ 4 2 の最下面の透明部材 7 4 を導電性にしトナーと同極のバイアス電圧を印加しただけでは効果は低く、透明部材 7 4 へのバイアス電圧印加と同時にア

ース電極板 8 2 を設けて飛散トナーが透明部材 7 4 に付着しにくい電界を形成する必要がある。

尚、張架動ロール 2 2 は樹脂製でも導電性であれば同様の効果が得られ、金属ロールに薄い絶縁フィルムを被せても同様の効果が得られる。